

ムーブメント教育・療法について

- 1 遊びがベースです。
- 2 個々の得意なところに注目します。
- 3 環境との相互作用で発達を促す方法です。
- 4 活動する中で自然に社会性を育てていくこともできます
- 5 「からだ・こころ・あたま」に働きかけようとする方法です。
- 6 子どものことを知るためのアセスメントが確立しています。(写真)
- 7 話し合いの中で子どもの捉え方・接し方を知る機会が持てます。
- 8 柔軟に対応する力・子どもの良さを見つけたら力がつきます。



「強み」「めばえ」を発見して活動に生かす

パラシュート
空間時間意識
ファンタジー

小林芳文先生より応援メッセージ

私は、ムーブメント教育・療法をわが国へ導入した研究者として、この研究所の発展に努力を惜しみません。どうぞ皆が笑顔で、元気になる温かい道をどんどん作ってください。

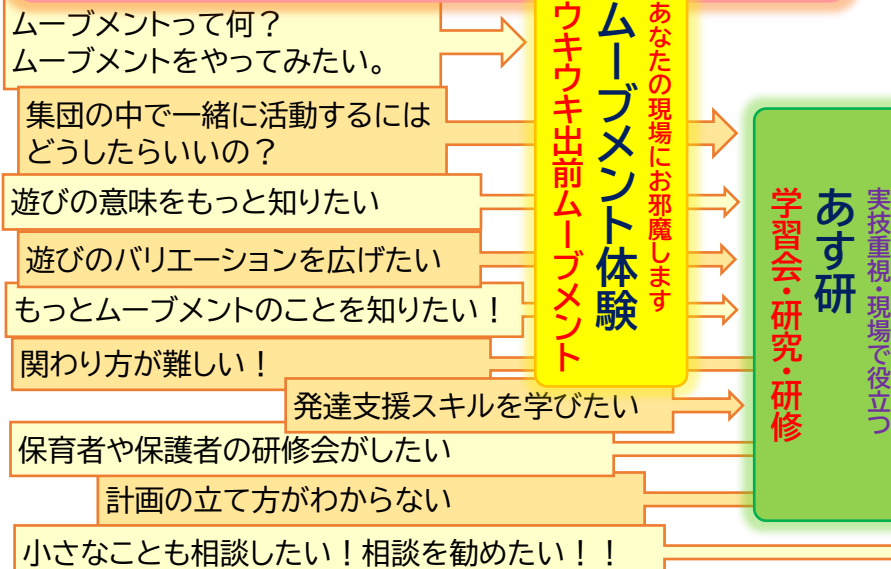
松川よりこ
です



※小林芳文博士 特定非営利活動法人日本ムーブメント教育・療法協会会長・国際ムーブメント教育・療法学術研究センター所長・横浜国立大学名誉教授・和光大学名誉教授・教育学博士 MEPA-R (ムーブメント教育・療法プログラムアセスメント) 著 LD児・ADHD児が蘇る身体運動 遊び場作りで役立つムーブメント教育・療法他著書・編者多数

めざせ！地域のムーブメント拠点

あすらぼのプロジェクト



新聞紙で海の探検
社会性
手指の操作性

スカーフを足に乗せてバランス
身体意識

遊具でお絵かき
クリスマスツリー！
社会性・創造性

スペースマットの
あまの川を渡ろう
視知覚連合運動

フォローアップ相談窓口
あすつこエール
面接・メール・電話相談

プロジェクトの詳細・日程はホームページまたはチラシでご確認ください。

代表理事
松川節理子プロフィール

臨床発達心理士・公認心理師・保育士・認定ムーブメント教育・療法上級指導者
子育て支援サークル「トライアングルしもふさ」
ムーブメント「パラシュート」代表

トライアングル
メンバーと仲間たち



* 2000年に養護学校教諭退職後、東庄町・香取市・富里市・成田市などで、乳幼児健診後フォローアップ教室のためのことばの相談室、親子教室また発達相談を担当。他に幼稚園などの巡回相談も行う。八街市にある療育機関でもムーブメントの研修に関わる。

* 1991年にムーブメント教育・療法に出会い衝撃を受ける。教師退職後、茨城県神栖市の療育機関の研修会への参加から小林芳文氏から直接学ぶ機会を得る。同時にかしまムーブメント連絡会（障がいをもつ子どもの家族の会）に出会い現在も交流が続く。

* 2007年に成田市下総公民館でムーブメント実践の場として、子育て支援サークル「トライアングルしもふさ」・2012年には「ムーブメント・パラシュート」をスタート。2015・2016年には小林芳文氏を迎え、研修会を開催、約200名の参加者を集める。これまでセミナーや各研修会の依頼を受け講師も多く務めている。

* 2017・2018年には「インクルーシブ保育における保育者のスキル形成と専門性の向上に関する研究」に共同研究者としてかわる。2020年7月発刊予定の「小学校体育・幼児教育・保育、特別支援教育に生かすムーブメント教育プログラム101・大修館出版・小林芳文 是枝喜代治監修」では、「トライアングルしもふさ」のプログラムなどが掲載予定である。